

朝から30℃を越す猛暑の中、余戸駅に次々と参加者が到着した。出迎えの「蔵の会」メンバーの先生の案内で余土公民館に着く。

当日は、教育会第一ブロックより15名、特別参加の湯築支部より2名、蔵の会メンバーの6名も含めて23名となり、公民館の会議室は満杯になった。歓迎あいさつ、自己紹介を受けて来訪の挨拶をする。その後、盲目の余土村村長「森盲天外先生」の業績や生い立ちについて年譜を通して説



明を受けた。講師は森二郎先生。

9時30分からテレビ愛媛制作DVDを視聴。これは平成4年制作当時の映像であり、元子規記念博物館長を務



められた和田茂樹先生や元愛教研会長の奥田和久先生の懐かしい顔も拝見することが出来た。31歳のこれからだという年に失明し、3度も自殺を考えたがそれを乗り越え、村人に乞われて余土村村長として全財産を投げ出し、地域・弱者のために貫かれた生涯であった。講義や質疑応答の合間に盲天外先生関連の図書などを所蔵した資料室も見学させていただいた。

地元余土地区の人々にも、また、松山市民からもその生涯の偉大な業績があまり知られていない。その業績に光を



当てたいとの思いがあり、森二郎先生方を中心とした「一粒米の会」の活動が始まっている。



学習した後、余土公民館の前庭に設置されている「森桓太郎翁頌徳碑」前で記念写真を撮る。また、余土小学校庭内に設置され

ている「一粒の米」記念碑などを見学し、その足で昼食会場の「ローズハウス」へ移動。森二郎先生など余土さくら支部5名の方々とのバイキング料理による会食を楽しんだ。



8月のお知らせ 次回は愛南町一日研修旅行です。日時・集合場所 8月4日(土)午前8時 イヨテツ高島屋前坊ちゃん広場 見学・体験場所 きさいや広場、海中展望船、石垣の里・外泊、宇和海展望タワー、久良湾で発見引き上げられた旧海軍戦闘機(紫電改)、産直市おっとりっしや 参加費 7,000円

